

# 1 岡山県産材の特徴と利用のすすめ

## 岡山県産材製品カタログ 目次

製材・流通業者から 建築士・工務店への情報

1	岡山県産材の特徴と利用のすすめ	3
2	県産材の生産・流通・加工	6
3	乾燥材の利用のすすめ	11
4	JAS製品の利用のすすめ	14
5	木材利用方法のあれこれ	16
6	岡山で製材・加工される主な用途別製品	19
7	こんなにある岡山の製材工場と主な製材品	28
8	どこに集まる岡山の木材製品	56
9	どこで買える岡山の木材	60
10	岡山県産構造用製材スパン表の活用	96

## 木材の利用

日本の人工林の多くは、戦後荒廃した森林の復旧のため、また、住宅の建築用材として通直で成長が比較的早いスギやヒノキが積極的に植えられました。その結果、現在、森林資源は増加し続けることができますが、その一方で、利用可能な時期を迎えたにも関わらず、外材の利用や非木造化が進み、国産材の利用が進まないという状況となっています。これらの結果、新しい木が植えられなかったり、間伐が進まないことなどから土砂崩れの原因になったり、CO<sub>2</sub>の吸収能力が低下したり、病虫害が発生しやすい原因となっています。木材は、伐採して、再び植林して育てることで再生することができる資源です。「伐って、使って、植えて、育てる」このサイクルを続ければ、枯渇することのない無限の資源といえます。

このサイクルを担う林業は、木材の生産等によって収入を得ながら、適切な生産活動を通じて森林整備や再造林を行うことにより、水源の涵養機能や土砂の流出防止機能等森林の有する多面的機能の発揮に貢献しています。森林の多面的機能が持続的に発揮されるようにするためには、林業の健全な発展が不可欠となっています。

人工林を中心に増加する森林資源を有効に活用しつつ林業の健全な発展と県内の森林整備のための収益の還元を進めて行くためには、県産材の需要拡大が不可欠となっています。

